

平成29年度 事業計画書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行なう。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・コレクション・データベース(業務用と一般公開用)の運用を開始し、利用促進を図る。
- ・ポスター高精細デジタル画像化は、将来的にポスターアーカイブの全作品のデータ化を目標に継続的に進める。平成29年度は、石岡瑛子、福田繁雄作品を行なう。
- ・ポスターアーカイブは、寄贈表明いただいた作家からの体系的な寄贈を受け入れる。
- ・将来的アーカイブセンターとして実現すべき機能・仕様を引続き実証・検討する。

(1) 田中一光アーカイブ

コレクション・データベース公開と並行してメタデータの精緻化を進める。データ整備は、旧田中一光デザイン室関係者による校正とともに、研究助成事業B部門「田中一光に関する研究」で得られる知見も活用する。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作を次世代に文化資源として残すための収集活動を継続する。現在、寄贈受け入れ予定作家は、仲條正義、佐藤晃一、サイトウマコト、勝井三雄、佐藤可士和、灘本唯人。

現在、国内117作家、海外114作家、計231作家、14,124作品を収蔵している。また、複数のポスター作品を所有している、田中一光アーカイブ、永井一正アーカイブ、福田繁雄アーカイブなどは、海外の美術館などからの寄贈依頼に対して作家サイドと連携して対応する。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

平成29年度、タイラーグラフィックスのコレクションによる収蔵品展をCCGAにて1回開催し、他美術館への作品の貸し出しも行う。

(4) ポスター高精細デジタル画像化は、撮影、画像合成、専用撮影機材などを活用してポスター作品のデジタル保存(400dpi/解像度、800Mb程度/B1サイズ)を進める。作業の進行は、優先順位や作業負荷、コストを検討し推進する。

(5) 作品データベースのリニューアル

世界的に進む文化資源のデジタルアーカイブ化の動向を踏まえ、国際標準規格に準拠した、「DNP文化振興財団コレクション・データベース」を、段階的にカットオーバーする。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【定款 第4条(2)、(6)】

東京都 ggg、京都市 ddd、須賀川市 CCGA の3施設で展覧会を開催する。

平成29年度は、次ページに記載した予定表に従って展覧会を開催する。

- ・gggの展覧会開催スケジュールは、年7回開催とし、企画展ごとの効果的な開催期間を検証する。
- ・dddは、年4回の展覧会開催に加え、エリア内の美術デザイン系大学と連携した特別企画展を実施する。また、周辺地域での認知拡大を図り、広報活動も注力して継続する。
- ・CCGAは、「タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展」の他、現代版画作家をテーマとする企画展を開催する。

(1) gggとdddの会期日数の見直しをおこない、通年で効果的な会期を検証する。「TDC展」「ADC展」といった他団体との定例化した連携展は、集中的な来場促進を図り、従来の1ヶ月程度(約20日)の開催期間とする。日本人作家の個展、海外作家の個展、テーマ展などは、1ヶ月半～2ヶ月(30日間前後)の開催とする。

(2) dddの大学連携企画

京都の大学や専門学校が多いといった土地柄を生かし、美術デザイン系の学校と連携を図り、教員、学生を巻き込んだ形の企画展を実施する。

成安造形大学連携企画

期間:2017年11月13日～11月28日(13日間)予定

タイトル:成安造形大学展(仮)

(3) CCGAで展覧会に合わせて作家によるトークイベントを開催

4月22日(土)に、松永真氏によるギャラリートークを開催

6月17日(土)に、加納光於氏によるギャラリートークを開催

・ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 358 回 TDC2017	4/5(水)～4/28(金)
第 359 回 ロマン・チェシレヴィチ 鏡像への狂気	5/15(月)～6/24(土)
第 360 回 2017ADC展	7/3(月)～7/29(土)
第 361 回 フィリップ・アペロワ「ApeloigT's」	8/7(月)～9/16(土)
第 362 回 白井敬尚展 組版造形	9/26(火)～11/7(火)
第 363 回 マリメッコ スピリット&ウェイブ	11/15(水)～1/13(土)
第 364 回 平野甲賀と晶文社展(dddから巡回)	1/22(月)～3/17(土)

・ddd(京都)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 212 回 特別企画展(計画中)	4/11(火)～6/24(土) (日程未定)
第 213 回 TDC2017(巡回展)	7/4(火)～8/22(火)
第 214 回 平野甲賀と晶文社展	9/4(月)～10/24(火)
【特別展】大学連携展(成安造形大学)	11/13(月)～11/28(火)
第 215 回 ウィム・クロウエル グリッドに魅せられて	12/7(木)～3/17(土) (日程未定)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 74 回 松永真ポスター展	3/1(水)～6/11(日)
第 75 回 加納光於—揺らめく色の穂先に展	6/17(土)～9/10(日)
第 76 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.30	9/16(土)～12/24(日)
冬期休館 (特別展第 29 回 田善顕彰版画展 2 月開催予定)	12/24(土)～2/28(火)
未定	3/1(火)～

ggg、ddd は入場無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】

グラフィックに関する知識・関心を、一般の方々に広げることが目的に、講演会、対談、ワークショップ、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行なう。

- ・平成29年度、gggBooks は5点を発行予定。アニュアルレポートは、8月に発行予定とする。
- ・gggBooks の電子書籍版の発行も継続し、電子図書館での利用を促進する。
- ・ギャラリートークは、無料動画ネット配信により、来場できなかった不特定多数の方々が広く参加できるものとする。
- ・須賀川CCGAにおいて、地元の版画文化振興と連携して版画工房ワークショップ、版画工房の一般開放、Facebookサイトの運営を継続し、活性化を目指す。

・図書の刊行:

平成29年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「gggBooks」を5点(発行予定作家: ロマン・チェシレヴィチ、フィリップ・アペロワ、白井敬尚、平野甲賀、ウイム・クロウエル)発行する。

・アニュアルレポート発行:

平成29年度は、「アニュアルレポート 16-17」を8月に発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 17-18」の企画・編集を開始する。

・ギャラリートーク:

平成29年度は ggg(銀座)で8回、ddd(京都)で4回、CCGAで2回開催予定。

また、セミナーは、原則インターネットを通じて不特定多数の人に向けて配信するが、最適な配信の方式(通信の安定性、使用制限内容など)を検討する。

dddでは、ギャラリーの認知拡大にもつなげるために、外部(大学など)の会場を活用してセミナーを開催する。

・ホームページ:

不特定多数の方に向けて、新鮮な情報発信を行う。インターネットを活用した展覧会の予告、開催状況、ギャラリートークの予告、電子書籍などの告知、研究助成プログラムの告知・申込み・成果発表などに活用する。

・版画工房ワークショップ: 2回開催予定

=5月開催予定 メゾチント講座

=11月開催予定 木口木版講座

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款 第4条(5)】

- ・平成29年度は、gggにて3回、dddにて1回、海外作家の展覧会を開催し、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。海外作家、美術館学芸員などの講演会を、展覧会活動と連動して開催する。
- ・東京タイプディレクターズクラブ(TDC)等と連携し、企画展の巡回先を検討する。
- ・世界のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。

・ロマン・チェシレヴィチ(5月ggg、ポーランド)、フィリップ・アペロワ(8月ggg、フランス)、マリメッコ(11月ggg、フィンランド)、ウイム・クロウエル(12月ddd、オランダ)の企画展を開催し、各国大使館や美術館などとの文化交流を促進する。

・AGI(国際グラフィック連盟)の総会2017(開催地パリ)に参加し、世界各国作家との交流、およびグラフィックデザイン界の情報収集を行う。

・TDC 展(2015/2016)の中国巡回(深圳市)に向けて、企画・準備他に伴うコミュニケーションサポートを行う。

(OCT ギャラリーにて、2017年3月31日~6月4日開催予定)

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条(7)】

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を対象としたコミュニケーション、印刷複製、表現の理論、技術、知識、歴史などを継続テーマとする。また、CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた協賛を継続する。

平成29年度も継続して

A部門: 「グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする研究」、

B部門: 「グラフィックデザイナー、田中一光に関する研究」

の研究テーマに対して助成をおこなう。

10月開催予定の審査委員会によって助成対象テーマを10件程度選考する。また、継続助成を希望するテーマについても審査する。

助成テーマの募集は、インターネットやチラシなどによって広く行い、国内外の研究者による研究を対象とする。

スケジュール

4月 平成29年度研究助成テーマ募集スタート

7月 応募締め切り

10月 審査委員会の開催

採択テーマの発表(発表後1年6ヶ月で成果の提出)

また、平成27年度、平成28年度末に研究期限をむかえる研究テーマについての成果発表をホームページ上と研究紀要の発行を通じて行う。さらに、今後、研究者同士の交流の形態、インターネットを活用した活性化の手法などを検討する。

以上